

1. 科目名(単位数)	病弱教育I (2単位)	3. 科目番号	SNMP3450 SCMP3450 SBMP3450 SSMP3450 SSMP3350
2. 授業担当教員	梅永雄二		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	病弱者の心理・生理・病理の基礎知識を基に本講義で得た教育支援の基礎を教育実習の臨床体験から統合させ、病弱教育IIで実践力を養う。		
7. 講義概要	<p>「病弱教育」の対象に伴う疾患は、小児慢性特定疾病、重症心身障害、知的障害や肢体不自由で合併する病態、通常学級でみられるアレルギー疾患やてんかんなど多岐にわたり、個々の病気の程度・種類・治療経過によっても教育の場や形態が変化する。「病弱教育」は特別支援学校・特別支援教育のみならず通常の学校でも行われ、病気の治療をしながら学校に通う子どもへの自立・発達支援への課題・教育環境の整備・合理的配慮・授業内容の柔軟性が不可欠な時代となっている。最近では、医療の進歩に伴い医療的ケアの必要な子どもの就学と学習保障も大きな課題であり、医療・福祉と連携した対応が必要とされている。本科目ではこれらに幅広く目を向け、教育の専門家として対応できる資質を培う。教育・療育機能施設見学・オンライン等により病児・障害児とその家族の実態を理解するに努め指導における自立・発達支援・教育環境の整備や合理的配慮について学ぶ機会を作る。</p>		
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下の概要を理解し、説明ができる。</p> <p>1.0歳から15歳までの心身の正常発達を理解し教育・指導におけるアセスメント力を身に着ける。</p> <p>2.「生きる力」をはぐくむカリキュラムにおいて病弱教育における多様な発達支援・自立支援・教育環境の整備・合理的配慮の実現を含む教育支援計画が作成できる。</p> <p>3.児童の地域生活における医療・福祉との連携・協働のコーディネートや留意点と教師の役割を理解できる。</p>		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>1. 毎回の授業毎にレポート・グループ課題発表資料を提出して下さい。(到達度評価)。</p> <p>2. SDG s 子どもの人権誰も取り残さない教育について小テストを実施する。</p> <p>3. 配付プリント、レポート等が綴られるようなノート兼用のバインダーを準備してください。</p> <p>4. 教育指導計画・教育支援計画・教材づくりを実践的に学び演習する。</p> <p>5. ICTによる障害児童や保護者との面談・交流を体験し、特別支援教育について理解を深める。</p> <p>6. グループで病弱教育、筋ジストロフィー、心臓病などの定義、特性、教育環境についての合理的配慮点などをまとめ発表すること</p> <p>7. 文部科学省「生きる力」の教育「知的障害教育」について学び要点をまとめる。</p> <p>・本授業は、アクティブラーニング方式でグループワークにより事前事後学習、発表を行い「学ぶ」「気づく」の主体的学習姿勢・グループでの役割認識を重視する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書】 梅永雄二、島田博祐、森下由規子(2026):もっと、みんなで考える特別支援教育(北樹出版)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1.毎回ごとの個人・グループでのレポート課題や到達課題研究に真摯に取り組んだか。</p> <p>2.病弱教育に関連する法令(学校教育法施行令第22条の3)における教育課程や教育的対応が理解できたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <p>1.授業課題の予習と復習、グループワークへの積極的意見・発表資料等の作成・役割認識を評価する。</p> <p>2.小テスト・レポート・課題研究40%</p> <p>3.「生きる力」のカリキュラム実施のための基本の病態・障害・教育環境整備・合理的配慮に関する期末テスト60%</p> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>病弱教育の対象は多岐に渡り、小児慢性疾患のみならず、知的障害や発達障害、肢体不自由、難病など、重複・合併する疾病や障害も多様です。教育の場も流動的で、入院・自宅療養・原籍校での学習・特別支援学校に転籍した上での学習など、さまざまな教育環境の中で授業形態を考えます。また、関連職種との連携・協働の場面も多く、医療(治療を提供する)や福祉(児童の生活を豊かにする)、家庭(児童の生活を支える)の側からの視点で考える姿勢が求められます。どの子どもも治る力、学ぶ力、生きる力、自己実現力をもっています。その力を引き出し高めていくのが教師の仕事です。</p>		
13. オフィスアワー	講義時に提示		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ・病弱児の定義 ・病弱児教育について事例を通して理解する	事前学習	病気や障害を抱える子どもたちとその生活実態をビデオ等で視聴し病児を知る
		事後学習	「病気」とは何か、自分の考えを説明できるようにしておく
第2回	病弱教育の場と対象 ・病弱教育が与える児童の将来・生きる力についてカリキュラムより概観する。	事前学習	学校教育法施行令第22条の3について調べておく
		事後学習	病弱教育を受ける場と対象についてまとめる
第3回	子どもの権利条約から特別支援教育に必要な基本姿勢5つ 小テスト：子どもの権利条約・世界的視野 ：子どもの発達と特別支援教育	事前学習	子どもの人権・SDG s 誰も取り残されない教育をユニセフのHPから調べておく <a href="https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html">https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig.html</a>
		事後学習	子どもの権利条約・特別支援教育の柱・教育者の姿勢について理解を深める

第4回	学習指導要領を踏まえた指導 障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて 第3編 障害の状態等に応じた教育的対応 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm</a>	事前学習	病弱児の個別の指導計画・個別の教育支援計画について、web等で調べておく。
		事後学習	病弱児の個別の指導計画・個別の教育支援計画案について発表レジュメの作成。
第5回	・子どもの発達と特別支援教育について学ぶ 正常発達6歳の発達特性と特別支援教育・通常教育	事前学習	病弱児の個別の指導計画・個別の教育支援計画案について発表レジュメの作成。SMA児を対象 <a href="https://www.nanbyou.or.jp/entry/135">https://www.nanbyou.or.jp/entry/135</a> 参考
		事後学習	個別の指導計画・個別の教育支援計画・ポイントをまとめる
第6回	様々な指導事例①模擬授業に向けた個別の教育支援計画・(自立支援・発達支援評価・プログラム)グループディスカッション・発表	事前学習	病弱児の個別の指導計画・個別の教育支援計画案について発表レジュメの作成
		事後学習	個別の指導計画・個別の教育支援計画・ポイントをまとめる
第7回	様々な指導事例② ・特別支援教育支援計画の書き方を学ぶ ・特別支援教育における合理的配慮とその要点について理解する。 ・病児と交流し、アイスブレイク・教育アセスメントを行う。	事前学習	対象児童の病気の理解・教育環境・合理的配慮について考察する。模擬授業を行うための個別の教育支援計画案作成する
		事後学習	個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義を理解する。指導計画や指導を振り返る
第8回	様々な指導事例③(自立支援・発達支援評価・プログラム)グループディスカッション・発表 模擬授業の振り返り 再検討した教育支援計画	事前学習	病弱児の個別の指導計画・個別の教育支援計画案について発表レジュメの作成
		事後学習	個別の指導計画・個別の教育支援計画・ポイントをまとめる
第9回	病気の状態に応じた配慮(1) (小児慢性特定疾患①)白血病 出血させない教育環境づくり	事前学習	病気の状態に応じた配慮(1) (小児慢性特定疾患①)白血病を理解する
		事後学習	配慮点をレポートする
第10回	病気の状態に応じた配慮(2) (小児慢性特定疾患②)腎臓病・糖尿病 教育環境・合理的配慮	事前学習	病気の状態に応じた配慮(2) (小児慢性特定疾患②)腎臓病・糖尿病をインシュリン、人工透析・すい臓の働きから理解する
		事後学習	配慮点をレポートする
第11回	病気の状態に応じた配慮(3) (小児慢性特定疾患③)筋ジストロフィー 子どもとのコミュニケーションの取り方に留意して教育環境づくり	事前学習	病気の状態に応じた配慮(3) (小児慢性特定疾患③)筋ジストロフィーを理解する <a href="https://www.nanbyou.or.jp/entry/135">https://www.nanbyou.or.jp/entry/135</a> 日本版 modified Rankin Scale ( mRS ) 判定基準書 modified Rankin Scale
		事後学習	配慮点をレポートする
第12回	病気の状態に応じた配慮(4)(心臓病・医療的ケア児) 医療的ケア児に留意して教育環境づくりや地域連携について学ぶ	事前学習	病気の状態に応じた配慮(4)(医療的ケア児) 医療的ケア児・大島分類について整理しておく
		事後学習	医療的ケア児についてレポートする
第13回	正常発達の学生発表と質疑応答(0~2歳児)(8歳児) ・教科書；セラピストのための子どもの発達ガイドブック	事前学習	病気の状態に応じた配慮(5)(不登校・心の病)を理解する
		事後学習	配慮点をレポートする
第14回	I正常発達11~12歳児の特性について発表する。 ・教育上の留意点について議論しまとめる。 教科書 セラピストのための子どもの発達ガイドブックより ・視覚障害教育について学ぶ。	事前学習	ICTを活用した授業効果について調べておく <a href="https://www.digital-knowledge.co.jp/about/esi/ict/ほか">https://www.digital-knowledge.co.jp/about/esi/ict/ほか</a>
		事後学習	ICT活用した効果・配慮点をレポートする
第15回	・正常発達の発表(11・12歳)と教育上の特性と配慮点についてディスカッションする ・染色体異常による疾患や重複障害について理解する。	事前学習	グループ発表資料の作成
		事後学習	成果の提出資料の作成
【期末テスト】			
「生きる力」のカリキュラム実施のための基本の病態・障害・教育環境整備・合理的配慮に関する期末テスト 60%			